

上下水道の技術士に

「工学部に行つて生活・生産に直接結びつく技術者になつてほしい。それができる時代だ」。高校時代の担任のアドバイスが以後の進路の決め手となった。環境に配慮しながら社会基盤を整備できる技術者を目指し、土木系の衛生工学を選択した。

凛としていきる

理系女性の挑戦

女性技術者育成を支援

を生かせる上下水道コ  
ンサルタント会社に決  
まった時は、簡単に辞  
めないという決意を固  
めていた。

この会社で二十数年

年、下水道の計画業務に従事した。子育てをしながら仕事を続けるために、職任近接、家事分担、業務の効率化を考え、各種制度や友人の助けも得た。3歳と0歳児を抱えた時期は夜中の授乳時、早朝などわずかに空いた時間を使得って勉強し、上



技術サロ  
ンで若手女性  
技術者と

下水道部門の技術士の資格を取得した。3人の娘の育児、家事を夫と分担しながら管理職として女性技術者の育成に取り組んだ。

現在山口県に転居し、地元の建設コンサルタント会社で土木設計、環境調査を担当している。娘たちは、各自の専門を生かし適職に就き、他県で暮らしている。孫もできた。山口県はまだ女性技術士の数が少ない。9月に山口県庁の土木・農林系女性技術者と女性技術士が集まり、女性技術者のライフスタ

イルの課題や悩みを話し合った。日本技術士会男女共同参画委員会の技術サロン、地盤工学会タイバースティ特別セッションなどでも私の体験談を語った。これからも後輩技術者の支援をしたい。

山口市では2017年10月、「維新150年―新しい時代を創る技術士の役割」をテーマに、日本技術士会の全国大会が開かれる。全国から技術士が集まる場で山口の良さを感

来てほしい。企画協力・日本女性技術者フォーラム(JWEF) (火曜日に掲載)

委員会準備している。維新150年関連のイベントも県内各地で計画されている。機会があればぜひ山口へ

山口建設コンサル  
タント 技師長  
山本 美子



〈プロフィール〉79年京大院工学研究科修士修了。上下水道コンサルタント勤務を経て、06年より現職。技術士(建設部門、上下水道部門、環境部門、総合技術監理部門)。徳山工業高等学校非常勤講師。